

# かざぐるま 通信

第32号

令和3年12月1日 発行

【発行・編集：小山市家庭教育支援チーム】  
〒323-8686 小山市中央町1-1-1  
TEL：0285（22）9665  
FAX：0285（22）9650  
小山市教育委員会 生涯学習課内



私たち、小山市家庭教育支援チーム「かざぐるま」は、就学時健診、PTA研修、授業参観など、保護者の方々が集まる多くの機会を利用して、保護者の方向士の話し合いの中から、子育てに関する気付きを得る、【親学習プログラム】を実施しています。

## コバノチカラ

昔から、言葉には、言霊（ことだま）といって、言葉を神霊のように見立てられることがありました。それは、人の心に作用する不思議な力があるからです。

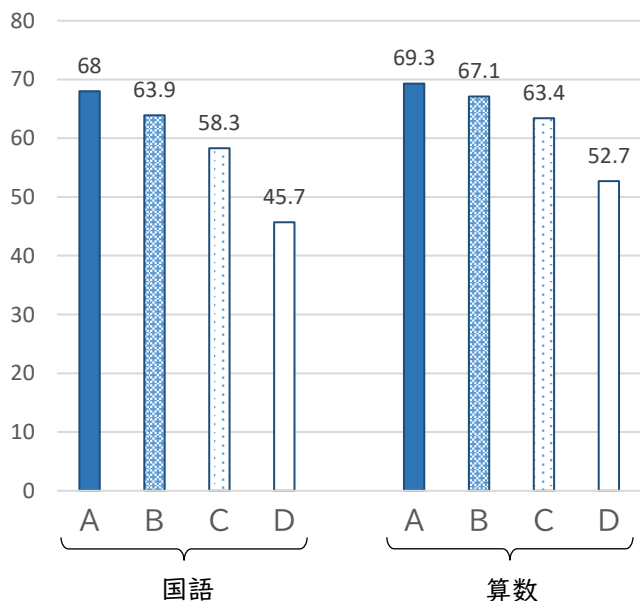
ある一言が一步踏み出す勇気を与え、くじけそうな気持ちを支えてくれたり、悲しみや苦しみをやわらげ心が癒されたり、など、目には見えない力が働いているのでしょうか。人の思いが宿り大切に届けられた言葉は、「あなたは尊い大切な人」というメッセージに包まれて受け取った人の心に届くのかもしれません。

また、一方では、その一言に傷つき、苦しみ追い詰められ、立ち直れないほどのダメージを与えてしまうこともあります。特に問題とされているのは、SNS やネットの書き込みなどの目をそむけたくなるような容赦のない言葉の攻撃です。誹謗中傷など身元不明の吐き捨てられたような言葉は、人の心を不安にさせ傷つけてしまいます。

普段なにげなく使っている言葉ですが、自分やほかの誰かをポジティブにもネガティブにも変えてしまう力があり、多くの方は、その一言に揺れ動く（反応する）繊細な心を持っているということかもしれません。



家庭でのコミュニケーションと学力との関係



左のグラフは、「学校での出来事について、家の人(兄弟姉妹を除く)と話をしていますか?」という質問に対し、

- A. している
- B. どちらかといえば、している
- C. あまりしていない
- D. 全くしていない

A~D それぞれの回答層の学力テストの平均点を表しています。

家の人と、学校での出来事について話をしている児童生徒ほど、学力調査の平均正答率が高い傾向にあるようです。

お子さんの言葉に耳を傾けてみませんか?

『平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 調査結果【全国版/小学校】』  
(国立教育政策研究所 教育課程研究センター)  
(<https://www.nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/factsheet/19primary>)  
クロス集計表をもとに作成

# 子どもたちのいちばんの願い、 それは何だと思いますか？

「あなたの家庭にもっと望むことがあるか」

と子どもたちに聞いたところ、  
どの年代の子どもでもいちばん多かった答えは

「家族のみんなが楽しく過ごす」でした。

子どものために、自分のために、  
もう一度家庭を見つめ直してみましよう。

「平成二十二年版家庭教育手帳《乳幼児編》」8頁(文部科学省)

([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/katei/2006\\_techou/mokuji.htm#1](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/katei/2006_techou/mokuji.htm#1))より、加工して掲載。

## 子育ての悩み聞きます！ 「おしゃべり会」

毎月第3火曜日午前11時

小山第一小学校北校舎1階子どもふれあい教室

【お申込み・お問合せ】

小山市教育委員会生涯学習課：家庭教育支援担当

22-9665

## 小山市青少年相談室

(小山市教育委員会生涯学習課)

幼児から20歳までのお子様の教育・子育てなどの  
心配ごとについて、お子様自身や保護者の皆様をご  
相談できます。

◇面接相談【要予約】

25-4002 (月～金9時～17時)

◇電話相談

25-4006 (月～日10時～17時)

★家庭教育支援チーム・親学習プログラム等についてのお問い合わせ  
小山市教育委員会 生涯学習課  
Tel 0285-22-9665 Fax 0285-22-9650  
Mail: d-gakusyu@city.oyama.tochigi.jp

今までに発行した  
「かざぐるま通信」は、  
こちらからご覧いただけます。

